

## 議 事 日 程 第 1 号

平成30年9月3日（月）午前10時開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

（産業建設常任委員長報告）

日程第 3 請願第1号 種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書提出方請願（平成30年6月定例会からの継続審査）

日程第 4 報第12号 平成29年度の決算に基づく米沢市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

日程第 5 報第13号 専決処分事件の報告について

日程第 6 議第60号 米沢市教育委員会委員の任命について

日程第 7 認第 1号 平成29年度米沢市一般会計歳入歳出決算

日程第 8 認第 2号 平成29年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算

日程第 9 認第 3号 平成29年度米沢市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算

日程第10 認第 4号 平成29年度米沢市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算

日程第11 認第 5号 平成29年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計歳入歳出決算

日程第12 認第 6号 平成29年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計歳入歳出決算

日程第13 認第 7号 平成29年度米沢市下水道事業費特別会計歳入歳出決算

日程第14 認第 8号 平成29年度米沢市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算

日程第15 認第 9号 平成29年度米沢市物品調達費特別会計歳入歳出決算

日程第16 認第10号 平成29年度米沢市南原財産区費特別会計歳入歳出決算

日程第17 認第11号 平成29年度米沢市三沢東部財産区費特別会計歳入歳出決算

日程第18 認第12号 平成29年度米沢市水道事業会計決算

日程第19 認第13号 平成29年度米沢市立病院事業会計決算

日程第20 議第61号 市有財産（スクールバス）の取得について

日程第21 議第62号 米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正について

日程第22 議第63号 米沢市議会議員及び米沢市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について

日程第23 議第64号 米沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部

改正について

- 日程第24 議第65号 米沢市立病院薬剤師奨学金返還支援金貸付条例の設定について  
日程第25 議第66号 米沢市新庁舎建設工事請負契約の締結について  
日程第26 議第67号 市道路線の廃止について  
日程第27 議第68号 市道路線の認定について  
日程第28 議第69号 平成30年度米沢市一般会計補正予算（第2号）  
日程第29 議第70号 平成30年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）  
日程第30 議第71号 平成30年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）  
日程第31 議第72号 平成30年度米沢市立病院事業会計補正予算（第2号）  
日程第32 議第73号 平成29年度米沢市水道事業会計剰余金の処分について  
日程第33 請願・陳情の付託

本日の会議に付した事件

議事日程第1号と同じ

出欠議員氏名

出席議員（24名）

1番	山村	明	議員	2番	工藤	正雄	議員
3番	堤	郁雄	議員	4番	佐藤	忠次	議員
5番	佐藤	弘司	議員	6番	山田	富佐子	議員
7番	高橋	壽	議員	8番	高橋	英夫	議員
9番	齋藤	千恵子	議員	10番	鈴木	藤英	議員
11番	皆川	真紀子	議員	12番	成澤	和音	議員
13番	鳥海	隆太	議員	14番	相田	光照	議員
15番	中村	圭介	議員	16番	海老名	悟	議員
17番	島軒	純一	議員	18番	小久保	広信	議員
19番	太田	克典	議員	20番	我妻	徳雄	議員
21番	木村	芳浩	議員	22番	相田	克平	議員

23番 島 貫 宏 幸 議員

24番 小 島 一 議員

欠席議員 (なし)

出席要求による出席者職氏名

市 長	中 川 勝	副 市 長	井 戸 將 悟
総 務 部 長	後 藤 利 明	企画調整部長	我 妻 秀 彰
市民環境部長	堤 啓 一	健康福祉部長	小 関 浩
産 業 部 長	菅 野 紀 生	地方創生参事	武 発 一 郎
建 設 部 長	杉 浦 隆 治	会 計 管 理 者	猪 俣 郁 子
上下水道部長	宍 戸 義 宣	市 立 病 院 事 務 局 長	渡 辺 勅 孝
総 務 課 長	安 部 道 夫	財 政 課 長	遠 藤 直 樹
総合政策課長	安 部 晃 市	教 育 長	大河原 真 樹
教育管理部長	渡 部 洋 己	教育指導部長	佐 藤 哲
選挙管理委員会 委 員 長	小 林 栄	選挙管理委員会 事 務 局 長	村 岡 学
代表監査委員	森 谷 和 博	監 査 委 員 事 務 局 長	宇津江 俊 夫
農業委員会会長	伊 藤 精 司	農 業 委 員 会 事 務 局 長	宍 戸 徹 朗

出席した事務局職員職氏名

事 務 局 長	高 野 正 雄	事 務 局 次 長	三 原 幸 夫
庶 務 係 長	金 子 いく子	議事調査係長	渡 部 真 也
主 査	堤 治	主 事	齋 藤 拓 也

平成30年9月定例会日程

会期	月日	曜日	開議時刻	会議名	場所	上程・付託			運営
						議案	発議	請願	
1	9/3	月	午前10時	本会議	本会議場	29		2	産業建設常任委員長報告、議案上程説明 総括質疑、議案付託 請願（陳情）付託
2	9/4	火		休会					
3	9/5	水	午前10時	本会議	本会議場				一般質問
4	9/6	木	午前10時	本会議	本会議場				一般質問
5	9/7	金	午前10時	本会議	本会議場				一般質問
6	9/8	土		休会					
7	9/9	日		休会					
8	9/10	月	午前10時	本会議	本会議場				一般質問
9	9/11	火	午前10時	決算特別委員会	委員会室	14			議案審査
10	9/12	水	午前10時	決算特別委員会	委員会室				議案審査
11	9/13	木	午前10時	決算特別委員会	委員会室				議案審査
12	9/14	金	午前10時	決算特別委員会	委員会室				議案審査
13	9/15	土		休会					
14	9/16	日		休会					
15	9/17	月		休会					（敬老の日）
16	9/18	火	午前10時	総務文教常任委員会	委員会室	3		1	議案審査・請願審査
17	9/19	水	午前10時	民生常任委員会	委員会室	2		1	議案審査・陳情審査
18	9/20	木	午前9時	産業建設常任委員会	委員会室	3			現地調査・議案審査
19	9/21	金	午前10時	予算特別委員会	委員会室	4			議案審査
20	9/22	土		休会					
21	9/23	日		休会					（秋分の日）
22	9/24	月		休会					（振替休日）
23	9/25	火		休会					
24	9/26	水	午前10時	議会運営委員会	委員会室				発議の取り扱い 日程協議
25	9/27	木		休会					
26	9/28	金	午前10時	本会議	本会議場		1		決算特別委員長報告 各常任委員長報告 予算特別委員長報告 発議等

午前10時00分 開会・開議

○島軒純一議長 おはようございます。  
ただいまの出席議員は24名であります。  
去る8月27日に招集告示されました平成30年9月定例会はここに成立いたしました。  
ただいまから平成30年米沢市議会9月定例会を開会いたします。  
直ちに本日の会議を開きます。  
本日の会議は議事日程第1号により進めます。

.....

日程第1 会議録署名議員の指名

○島軒純一議長 日程第1、会議録署名議員の指名であります。会議規則第88条の規定により指名いたします。  
7番 高橋 壽 議員  
15番 中村 圭介 議員  
18番 小久保 広信 議員  
以上3名の方をお願いいたします。

.....

日程第2 会期の決定

○島軒純一議長 次に、日程第2、会期の決定を議題といたします。  
お諮りいたします。  
本定例会の会期を本日から9月28日までの26日間と定めたいと存じますが、御異議ありませんか。  
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕  
○島軒純一議長 御異議なしと認めます。  
よって、本定例会の会期は本日から9月28日までの26日間と決定いたしました。

.....

○島軒純一議長 ここで、全国市議会議長会より特別表彰を受けられました方に表彰状の伝達を行います。

事務局長がお名前をお呼びいたしますので、前にお進みください。

○高野正雄事務局長 それでは、お名前をお呼びいたします。

議員在職35年以上特別表彰、1番山村明議員。  
〔表彰状の伝達〕（拍手）

○島軒純一議長 ここで、大変僭越ではございますが、私から一言お祝いを申し上げます。

山村明議員におかれましては、市議会議員として35年以上にわたり地方自治の振興発展に多大な功績を上げられ、このたび全国市議会議長会より特別表彰を受けられました。まことにめでたうございます。

今後とも、市勢発展と市民福祉向上のため、御活躍賜りますようお願い申し上げ、お祝いの言葉といたします。

.....

日程第3 請願第1号種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書提出方請願

○島軒純一議長 次に、日程第3、請願第1号種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書提出方請願を議題といたします。

本請願につきましては、平成30年6月定例会において産業建設常任委員会に付託され、継続審査とされたものであります。

この場合、産業建設常任委員会における審査の経過と結果について報告願います。

産業建設常任委員長15番中村圭介議員。

〔産業建設常任委員長15番中村圭介議員登壇〕

○15番（中村圭介議員） それでは、平成30年6

月定例会で当委員会に付託され、継続審査となっております請願1件について御報告申し上げます。

請願第1号種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書提出方請願についてであります。本請願は、主要農作物種子法が廃止されたことに伴い、試験場等の取り組みが後退することのないよう予算措置等の確保を行うこと、及び地域の共有財産である種子を民間に委ねることのないよう対策を講じることを求める意見書を政府及び関係機関に対して提出していただきたいとします。

審査に先立ち、6月21日及び8月27日に参考人及び紹介議員から補足説明を受け、審査に入りました。

本請願に対し、委員から、参考人は、実際に農業を営んでいる方々は種子法が廃止されたことをどのように感じていると考えているかとの質疑があり、参考人から、特に中核農家は種子法によって種子を安く購入することができていたことや、種苗の自家増殖が禁止となる方向であることなどから、種子法は大事なものであったという認識を持っているものと考えているとの答弁がありました。

また、委員から、民間に主要農作物の種子を委ねることにより、どのようなことが心配されるかとただされ、参考人から、各地方でつくられている個性のある米がなくなり、品種が限定されることになる。また、F1種子が扱われることになった場合は、毎年その種子を買わなければ安定した米をつくることができなくなるとの答弁がありました。

さらに、委員から、山形県においては、種子法にかわる条例に係るパブリックコメントの募集が行われており、今後、この条例が制定された場合、請願の趣旨は達成されるのかとただされ、参考人から、県条例として制定されたとしても法律がないので、国に今までと変わらない予算措置を

してもらうためにも、この意見書を国に上げていただきたいとの答弁がありました。

また、委員から、地方交付税の取り扱いについては、種子法廃止後も種苗法によって引き続き予算措置を講ずるとの方針が出されたが、これについてはどう考えるのかとただされ、参考人から、種子に対する財政措置については国会でも議論されておらず、減額する、なくすということにはなっていないが、種子法を廃止したことにはある一定の意味があると考えているため、将来にわたってこれが保障される確信は持てないとの答弁がありました。

次に、委員から、種子法が廃止されることとなった理由を他の委員はどのように認識しているのか、意見をお伺いしたいとの委員間討議の申し出があり、討議が行われました。

初めに、各都道府県において多くのブランド米がつくられているが、全ての品種が認知されているものではない。そういった中で、地域の実情や消費者のニーズに合わせたような品種の開発を官民が共同して行えるようにするため廃止されたものであるとの考え。

また、TPP締結による国際競争の中での市場開拓や研究開発が要因であるとの考え。

そのほか、国は民間の競争力のためと言っているが、民間企業の収益の対象になるだけではないかという考えなどが出されました。

さらに、委員から、グローバル企業へ各自治体と試験場等が培ってきた知見を渡すことについて、他の委員はどのように認識しているのか、意見をお伺いしたいとの委員間討議の申し出があり、討議が行われました。

初めに、グローバル企業の中には日本の企業も含まれており、外国の企業による独占状態にはならないと思う。また、米の種子は日本が世界一であることから、日本の企業がそれぞれ努力をし、よい品種をつくるはずであるとの考え。

また、行政により低廉な価格で提供されていた

種子が高額となれば、農業経営は圧迫される。また、F1や遺伝子組み換えの種子しか使えないようになってしまわないかとの考え。

そのほか、日本の一部の試験場では既にグローバル企業と共同研究して遺伝子組み換えの種子の試験栽培も始めているという報告もあり、種子法の廃止はこの動きを助長させていくものであるとの考えなどが出されました。

採決に当たっては、種子法の廃止は本当に国民の意見を反映した上での廃止だったのか、なぜ急いで廃止しなければならなかったのか、これまでの審議状況を鑑みても疑問である。日本の食糧の安全と自給権を守っていくために必要であると考えることから採択すべきとの意見。

各自治体と試験場等が培ってきた知見を今後民間と共有することは、地域の実情や市場のニーズに即した米の種子の開発、そして輸出を含めた産業の育成に寄与するものであり、また、現行の法制下においても、地方交付税措置を受けながら継続して事業に取り組むことができるものであるとの考えから不採択とすべきとの意見。

試験場では、新しい品種を奨励品種として決定するために、特性調査や食味等の評価などに多くの時間と労力をかけているが、これは、今までは種子法を根拠に国が責任を持って種子を守り、開発してきたからである。今後、今まで培った知見が民間に渡った場合、利益追求のため安易な形での開発が広がり、人体に悪影響を及ぼすものが出回る可能性が高くなるとされることから採択すべきとの意見に分かれましたので、起立による採決を行った結果、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。

以上、当委員会に付託され、継続審査となっておりました請願1件の審査の経過と結果を申し上げます、委員長報告といたします。

○島軒純一議長 ただいまの産業建設常任委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

請願第1号に対する委員長報告は、賛成少数で不採択であります。

お諮りいたします。

請願第1号を採択とすることに賛成の議員は御起立願います。

〔賛成者起立〕

○島軒純一議長 起立少数であります。よって、請願第1号は不採択と決まりました。

.....

#### 日程第4 報第12号平成29年度の決算に基づく米沢市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について外1件

○島軒純一議長 次に、日程第4、報第12号平成29年度の決算に基づく米沢市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について及び日程第5、報第13号専決処分事件の報告についての議案2件は、議事の都合により一括議題といたします。

御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

本件は報告事項でありますので、御了承願います。

.....

#### 日程第6 議第60号米沢市教育委員会委員の任命について

○島軒純一議長 次に、日程第6、議第60号米沢市教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

この場合、市長から提案理由の説明を願います。  
中川市長。

〔中川 勝市長登壇〕

○中川 勝市長 おはようございます。

ただいま上程になりました議第60号米沢市教育委員会委員の任命について説明いたします。

本市教育委員会委員の黒田三佳氏は、来る9月30日にその任期が満了となりますが、その後任として渡邊美智子氏を同委員に任命したく、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求めため提案するものであります。

何とぞ御同意賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

○島軒純一議長 ただいまの市長説明に対し御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 質疑を終結いたします。

これより採決いたします。

お諮りいたします。

議第60号に同意することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 御異議なしと認めます。よって、議第60号は同意することに決まりました。

.....

## 日程第7 認第1号平成29年度米沢市一般会計歳入歳出決算外25件

○島軒純一議長 次に、日程第7、認第1号平成29年度米沢市一般会計歳入歳出決算から日程第32、議第73号平成29年度米沢市水道事業会計剰余金の処分についてまでの議案26件は、議事の都合により一括議題といたします。

この場合、市長から提案理由の説明を願います。  
中川市長。

〔中川 勝市長登壇〕

○中川 勝市長 ただいま上程になりました認第1号から認第13号まで及び議第61号から議第73号までの26案件について説明いたします。

初めに、認第1号平成29年度米沢市一般会計歳入歳出決算について説明いたします。

歳入総額は411億1,666万2,436円であり、前年度と比較して7億6,313万5,081円増加しました。

主な内容としましては、返礼品の見直しなどの影響によりふるさと応援寄附金が大幅に減少した一方、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に対する補助や道の駅米沢の整備事業などにより県支出金が増加したほか、財政調整基金繰入金などが増加しました。

歳出総額は398億110万7,586円であり、前年度と比較して9億5,887万4,518円増加しました。

主な内容としましては、第1款議会費では、市議会ペーパーレス会議システム等を導入し、第2款総務費では、米沢ブランド戦略事業に取り組むとともに、庁舎建替事業の推進を図りました。

第3款民生費では、小学校3年生から数えて第3子以降の保育料の無償化を小学校6年生まで引き上げ、子育て世代の負担軽減を図ったほか、障がい者福祉を初めとした福祉サービス利用者の増加に対応したところであります。

第4款衛生費では、健康長寿日本一を目指したまちづくりの推進を図るとともに、地域の精神科医療を確保するため、米沢こころの病院の開設を支援し、第5款労働費では、雇用の安定や労働福祉の向上に取り組みました。

第6款農林水産業費では、大規模な牛舎等の整備を支援し、地域畜産の振興を図るとともに、森林施業の集約化を推進するため、林地台帳の整備に取り組みました。

第7款商工費では、道の駅米沢の整備を推進したほか、有機材料システム事業創出センターの整備支援を初めとする産業振興施策に取り組み、また、天元台ロープウエーの搬器等の更新やインバウンド対策などの観光振興等を推進しました。

第8款土木費では、冬期間の交通確保に努めたほか、市道及び流雪溝などの計画的整備を推進したところです。

第9款消防費では、常備消防に係る分担金を支出し、第10款教育費では、米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画の改定を行うとともに、北部小学校施設整備事業や市営プールの自動審判計時装置等の更新を行いました。

その結果、歳入歳出差引残額は13億1,555万4,850円となり、平成30年度に繰り越したところです。

次に、認第2号平成29年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算から認第11号平成29年度米沢市三沢東部財産区費特別会計歳入歳出決算までについて説明いたします。

特別会計は10会計あり、それらの歳入総額は215億621万6,425円で、前年度と比較して13億2,124万9,332円の減少となりました。

一方、歳出総額は210億1,291万6,164円で、前年度と比較して12億4,507万6,113円の減少となりました。

個々の特別会計において生じた歳入歳出差引残額は、平成30年度に繰り越したところであります。

次に、認第12号平成29年度米沢市水道事業会計決算について説明いたします。

水道事業につきましては、施設整備の面では、前年度と同様に老朽管の更新や給・配水管の布設及び布設がえなどを行い、耐震化と漏水防止を図るとともに、安定給水に努めました。

また、舘山浄水場の老朽化による廃止に伴い山形県企業局笹野浄水場からの県水を受水する施設等の整備事業につきましては、基本計画を策定しました。

経営面では、人口減少などの影響により給水収益が減少したこと等により、収益全体として前年度と比べ1,638万6,960円減少の19億7,218万8,984円となりました。

支出につきましては、退職給付引当金繰入額や

減価償却費が増加したこと等により、前年度に比べ2,936万9,085円増加の15億9,225万7,111円となりました。

この結果、純利益は前年度と比べ4,575万6,045円減少の3億7,993万1,873円となりました。

次に、認第13号平成29年度米沢市立病院事業会計決算について説明いたします。

病院事業につきましては、患者数及び患者1人1日当たりの診療収益が増加したため、入院収益及び外来収益がともに増加し、収益は前年度に比べ5億9,440万9,408円増加の74億9,754万3,370円となりました。

支出につきましては、給与費及び材料費が増加したため、前年度に比べ3億6,664万8,872円増加の75億2,735万9,090円となりました。

この結果、当期については、前年度に比べて2億2,776万536円損失が減少したものの、2,981万5,720円の純損失となったため、前年度から債務超過が続いております。

次に、議第61号市有財産（スクールバス）の取得について説明いたします。

本案は、次年度に米沢市立南原中学校と米沢市立第二中学校が統合することに伴い、生徒の通学の負担を軽減し安全な通学を支援することを目的としてスクールバスを運行するため提案するものであります。

契約につきましては、指名競争入札による物品購入契約とし、2業者による入札を行った結果、米沢市中田町字高橋式654-1、太平興業株式会社米沢支店支店長 古瀬公雄が1,890万8,640円で落札し、仮契約を締結いたしましたので、本契約を締結いたしたく、地方自治法第96条第1項第8号の規定により提案するものであります。

次に、議第62号米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正について説明いたします。

本案は、米沢市立関根小学校板谷分校並びに米沢市立南原中学校及び米沢市立南原中学校綱木分校を廃止するほか、規定の整備を図るため提案す

るものであります。

次に、議第63号米沢市議会議員及び米沢市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正について説明いたします。

本案は、公職選挙法の一部改正に伴い、米沢市議会議員の選挙において、候補者の選挙運動用ビラの作成について公営とするため提案するものであります。

次に、議第64号米沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について説明いたします。

本案は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うため提案するものであります。

次に、議第65号米沢市立病院薬剤師奨学金返還支援金貸付条例の設定について説明いたします。

本案は、米沢市立病院の薬剤師の継続的かつ安定的な確保に向け、同病院の薬剤師として業務に従事する職員に対し奨学金返還支援金貸付制度を設けるに当たり、必要な事項を定めるため提案するものであります。

次に、議第66号米沢市新庁舎建設工事請負契約の締結について説明いたします。

この工事は、耐震強度が不足している市庁舎の耐震化を図るため、設計・施工一括発注方式により、市庁舎の建てかえ工事を行うものであります。

契約につきましては、プロポーザル方式による選考を行い、選考した相手から見積書を徴取した結果、竹中工務店・後藤組・置賜建設・久米設計特定建設工事共同企業体、代表者、宮城県仙台市青葉区国分町三丁目4番33号、株式会社竹中工務店東北支店支店長 野村篤を契約決定者とし、契約金額43億4,592万円を仮契約を締結しましたので、本契約を締結いたしたく、地方自治法第96条第1項第5号の規定により提案するものであります。

次に、議第67号市道路線の廃止について及び議第68号市道路線の認定については、関連がありま

すので一括して説明いたします。

両案は、県ため池整備事業に伴い1路線を廃止し、1路線を再認定し、一般申請に伴い7路線を新規認定するため提案するものであります。

次に、議第69号から議第72号までの補正予算4案件について説明いたします。

議第69号平成30年度米沢市一般会計補正予算(第2号)は、地域総合整備資金の貸し付けなど緊急に補正を必要とする事業費として7億7,795万6,000円を増額しようとするものであり、この結果、補正前と合わせた一般会計の予算総額は367億6,325万3,000円となります。

主な補正内容を説明いたしますと、総務費におきましては、平成29年度歳計剰余金の財政調整基金への積み立てなどに要する経費として2億778万2,000円を、民生費におきましては、過年度国県支出金返還金などに要する経費として6,857万2,000円を、商工費におきましては、地域総合整備資金貸付金などに要する経費として4億7,236万2,000円を、災害復旧費におきましては市道等の災害復旧に要する経費として1,200万円をそれぞれ増額しようとするものであります。

これらに伴う財源としましては、特定財源として国県支出金や地方債などを増額補正するほか、一般財源として前年度繰越金と財政調整基金繰入金を増額補正するとともに、普通交付税や臨時財政対策債などを減額補正しようとするものであります。

あわせて、コンビニ交付サービス導入業務委託費を含む3件の債務負担行為を追加しようとするものであります。

次に、特別会計であります。議第70号平成30年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)につきましては、国民健康保険財政調整基金積立金や過年度国庫支出金返還金などに要する経費として2億9,081万1,000円を、議第71号平成30年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)につきましては、介護保険給付

基金積立金や過年度国庫支出金返還金などに要する経費として1億813万6,000円をそれぞれ増額補正しようとするものであります。

次に、企業会計であります、議第72号平成30年度米沢市立病院事業会計補正予算（第2号）につきましては、薬剤師奨学金返還支援金貸付金を増額補正しようとするものであります。

あわせて、薬剤師奨学金返還支援助成金の債務負担行為を廃止するとともに、薬剤師奨学金返還支援金貸付金の債務負担行為を追加しようとするものであります。

次に、議第73号平成29年度米沢市水道事業会計剰余金の処分について説明いたします。

本案は、平成29年度に生じた水道事業の剰余金を処分しようとするため提案するものであります。

以上、提案いたしました各議案につきまして、よろしく御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明といたします。

**○島軒純一議長** ただいま市長から提案理由の説明がありました議案のうち、認第1号から認第13号までの13件に関して、監査委員から提出されております決算審査意見書の説明を願います。森谷代表監査委員。

[森谷和博代表監査委員登壇]

**○森谷和博代表監査委員** それでは、ただいま上程されました認第1号平成29年度米沢市一般会計歳入歳出決算から認第13号平成29年度米沢市立病院事業会計決算までの決算に対する審査結果及び意見を、堤監査委員と意見が一致しておりますので、私のほうから御説明申し上げます。

まず、一般会計・特別会計決算及び基金運用状況審査意見書のほうをごらんいただきたいと思っております。

まず、1ページのところでございますが、第1の審査対象、第2の審査の方法は、ここに記載のとおりでございます。

第3の審査の結果を申し上げます。審査に付された決算及び基金の運用状況を示す調書は、い

れも関係法令に準拠して作成されており、かつこれらの計数は証書類と符合し正確であり、予算執行状況についてもおおむね適正であると認めます。

なお、当年度の決算の概況等は11ページ以降に記載しておりますが、各事業の決算のとおりでございますので、後ほどごらんいただきたいと思っております。

留意を要する事項等については概括すると次のとおりでございますので、第4の決算の総括から御説明申し上げます。

2ページについては、まず、財政健全化計画の目標その他について記載させていただいております。

3ページにつきましては、29年度までの結果でございます。実績累計額につきましては、計画を達成する計数となっております。一部、達成されていないところで、評価のところでバツのところがございますが、数字上、若干なかなかなか足らなかったということでバツにしておりますけれども、全体的に達成しておりますので、問題なしというふうに評価してございます。

5ページ、6ページについてでございますが、6ページについて、一般会計・特別会計の歳入歳出決算の概況につきましては、ここに記載させていただいておりますけれども、一般会計については増加、特別会計については減少、全体では減少という形になっております。

7ページ、8ページを見ていただきたいと思っておりますが、7ページにつきましては財政指数、ここに記載のとおり4項目については、後ほど申し上げますけれども、全て達成されておるという状況にあります。良化傾向にあるという形になっております。

8ページにつきまして、ここで若干気になりますのが基準財政需要額が29年度からちょっと減少になっていると。今まで28年度までは増加傾向にございましたけれども、29年度からは減少となったと。標準財政規模についても減少傾向が続いて

おります。結果、普通交付税については減少となっているという形になります。

9ページ、10ページのところに総括的意見を記載しておりますので、読み上げさせていただきます。

平成29年度の当初予算は、ふるさと応援寄附金が平成28年度比大きく減少する見込みの中で、最終年度となる米沢市まちづくり総合計画第1期実施計画を財政健全化計画に掲げた施策実現による経費の抑制を図りながら着実に推進することとし、財源不足が発生した場合は財政調整基金の取り崩しによって対応することとした。また、下記6項目の基本目標実現のための各種施策予算が編成され、さらに緊急性や必要性のある事業について9回の補正予算が編成され、執行されました。6項目についてはここに記載のとおりでございます。

一般会計の決算について、歳入では、地方交付税が減少したが、景気動向を反映して法人市民税で1億6,779万円、及びアパート建設、法人設備投資、新規参入法人の増加等による固定資産税で1億2,463万円の市税収入の増加があり、前年度に比べ1.9%、7億6,314万円増加して411億1,666万円となり、歳出では、庁舎建替事業に対応するための市庁舎整備基金積立金9億1,015万円があり、前年度に比べ2.5%、9億5,888万円増加して398億111万円となった。

その結果、形式収支では13億1,556万円、実質収支で12億8,979万円の黒字となるが、当年度実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支で1億1,806万円、それに実質的な黒字・赤字要素を調整した実質単年度収支で6億6,581万円、市独自の公共施設等整備基金等を調整した修正実質単年度収支では3億6,689万円の赤字となった。ただし、それは後年度負担の平準化を図るため、当初から予定していた市庁舎整備基金への積み立てを実施したことによるものであり、そのことを考慮すれば実質単年度収支で2億4,434万円、修正実質単年度収支で5億4,326万円のプラスであります。

不用額については総額で18億664万円であり、予算現額に占める比率は4.3%と、残念ながら前年度比0.6%上昇しました。金額的に多い順に、民生費4億8,898万円、商工費2億9,317万円、教育費2億3,927万円で、総額の56.5%を占めます。さらなる効率的な予算編成及び執行に努めていただきたいと思います。

特別会計の決算について、10会計の合計で、歳入は前年度に比べ5.8%、13億2,125万円減少して215億622万円となり、歳出は前年度に比べ5.6%、12億4,508万円減少して210億1,292万円となりました。

その結果、形式収支で4億9,330万円、実質収支で4億8,858万円の黒字となるが、当年度実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支では6,622万円の赤字となりました。これは、主に国民健康保険事業勘定で5,396万円、介護保険事業勘定で1,184万円、歳入歳出差引残額が減少したことによるものであります。

不納欠損額について申し上げますと、一般会計では前年度比4,178万円増加しているが、児童福祉費負担金の4,381万円によるものであります。これは、一昨年から「保育所負担金の不納欠損処理を含む債権処理の適正化」の検討を要請していたことに対する措置で、時効の5年を経過した分を算入したものであり、妥当なものというふうに判断いたします。特別会計合計では国民健康保険税が8,070万円減少し、前年度比7,803万円の減少となっております。

収入未済額について、一般会計では前年度比16億1,042万円と大幅に減少しているのは、国庫支出金2億8,857万円、県支出金11億9,497万円の減少によりますが、市税においても7,091万円減少させ、その減少幅を拡大させております。特別会計合計では前年度比1億937万円の減少となっており、国民健康保険税8,753万円の減少等によるものであります。これは担当課における債権管理意識の向上や滞納整理の取り組み強化による効果が認めら

れるもので、負担の公平性の観点から今後とも縮減に努めることを望むものであります。

市債の当年度末残高は、商工債で6億5,605万円、臨時財政対策債で2億7,203万円が増加するも、一般・特別・企業会計総計で前年度に比べ2.7%、14億8,351万円減少して538億3,272万円となりました。将来的に市庁舎、市立病院建てかえ等の多額の市債発行が予定されており、今後とも将来世代に過度な負担を強いることのないよう、適切な市債管理に努める必要があります。

財務指標について、財政力指数が0.56で前年度対比で0.01ポイントの上昇、実質収支比率が6.6%で前年度対比0.5ポイントの低下、経常収支比率が92.1%で前年度対比0.3ポイントの低下と、3項目とも、先ほど申し上げましたが全て良化傾向を示しております。また、公債費負担比率が13.1%で前年度対比1.2ポイントの低下、実質公債費比率が8.6%で前年度対比1.0ポイントの低下と、健全性も良化傾向にあります。

以上から、財務的に当市は類似団体平均を若干下回る程度に位置するものの、改善方向に推移しているというふうに思料されます。類似団体平均というのは、総務省公表の当市と同様の団体を指します。

地方公会計について申し上げます。総務省より、平成28年度決算から統一的な基準による作成とし、予算作成等の際の資料として活用するよう要請されました。当市においても、平成30年3月31日付作成、公表しております。統一的な基準による作成は当市にとっては初めてでもあり、その活用は今後の課題とするが、資産管理や予算編成のみならず、類似団体と比較することにより、財政構造の特徴や課題のより客観的な分析や行政評価、公共施設マネジメント等の活用にも有効とされております。中長期的な観点から財政運営等への活用を図るとともに、市民に対してわかりやすい説明資料となるよう努められたい。

最後に、今後の財政運営においては、地方自治

の本旨である最少の経費で最大の効果を挙げることを旨とし、自立的都市経営及び6項目の基本目標実現のための財政構造の基盤強化と健全化を図り、市政の規模と市民福祉の向上がさらに推進されるよう要望するものであります。

次に、34ページのほうまでお進みいただきたいと思います。

ここは一般会計に対する意見を述べたものですが、ここで8行目のところをちょっと見ていただきたいと思います。庁舎建替事業の資金確保のため9億1,015万円の積み立てを行ったということに対する理由でございますが、ここに記載させていただいています。なお、起債対象経費の中で、地方債充当残について、国は基金の活用を基本としていることから、米沢市新庁舎建設基本計画では、概算総事業費71億円とした中で基金活用等の財源を12億5,000万円と計画しました。そのようなことから、その計画額確保のため、その不足額の積み立てを今回行ったものであります。28年度については3億円程度積み立てしてございました。

そこから46ページまでお進みいただきたいと思います。

46ページにつきましては、特別会計に対する個別意見を述べさせていただいているものですが、ここに本年度トピック的なことがございましたので議員の皆様にお知らせしたいと思います。

それは、真ん中辺から下のところで収入未済額のところでございます。そこから3行目になります。なお、収入未済額の多くは国民健康保険税が占めているが、同税の収納率は前年度に比べ6.2ポイント上昇し70.8%になっており、平成13年度以来16年ぶりに70%台になりました。これは担当課の御努力のたまものでございまして、敬意を表したいと思います。

なお、その下に不用額のことについてがありますが、不用額についても特別会計についてはこのように3億6,114万円、43.5%増加している状況で

ございます。予算の計上に当たっては、所要経費を十分精査し、的確な見積もりを行うよう努められたいと思います。今後とも予算と決算の連関を進める努力が必要と存じます。

次に、公営企業会計の決算審査結果及び意見を申し上げます。

1 ページをお開きいただきたいと思います。第3の審査の結果を申し上げます。審査に付された各事業の決算報告書その他の財務諸表は、地方公営企業法その他の関係法令に準拠して作成され、予算執行状況、経営成績、財政状態及びキャッシュフローの状況をおおむね適正に表示していると認められました。

また、経営成績等については、水道事業は、給水人口、給水戸数が減少傾向にあることによる収益減、及びこの冬期間の平年を下回る気温低下を原因とする給水管の凍結破損による漏水、出し水等による費用増があったものの、依然として効率性の高い事業運営がなされており、減益にはなるものの経常黒字を計上いたしました。

病院事業は、残念ながら若干の経常赤字となりましたが、入院及び外来ともに患者数が増加したこと、あわせて患者1人当たりの診療収益も上昇したことにより、収益を大幅に改善させております。

2 ページをお開きいただきたいんですが、2 ページの決算統括のところ、まず、損益の状況については、営業収益で水道事業が18億円、病院事業は66億円、純利益で水道事業は3億7,900万円、病院事業は2,900万円の赤字でございましたが、前年度は2億5,700万円の赤字でございましたので、大幅な改善というふうなことが見られます。

3 ページ、根幹収入の状況については、今申し上げたとおり、水道事業については210万円でございますが減少、病院事業については6億円の増加と。3番目の企業債の状況については、ともに返済を順調に進めております。

4 ページをお開きいただきたいと思います。こ

こに総括的意見を述べさせていただいておりますので、これも読み上げさせていただきます。

平成29年度の米沢市地方公営企業の経営状況は、水道事業は引き続き安定した収支を維持するとともに、病院事業は依然として総体的比率計数は他類似病院比劣るものの、目をみはる収支改善を見せ、ともに大いに評価ができる。

ただし、根幹収入については、両事業とも人口減少による需要の減少と人口構成の変動に伴う変化の度合いが徐々に拡大していく中で、それに連動した種々の対策を講ずる必要に迫られております。

なお、企業債残高は、病院事業については依然一般会計から償還原資の2分の1負担は継続しているものの、両事業とも減少させております。

水道事業については、現時点における財政上の問題はないが、近い将来、施設・設備老朽化に伴う大量更新期の到来と、それに伴う費用の増大が予想され、耐震化対策の問題もございます。給水人口減少状況を踏まえ、投資必要額や財源など事業の将来見通しを的確に把握、分析し、更新投資を優先順位に基づき、着実に実施していくことが求められます。この点について、類似団体比、若干ではございますが劣位にあるところがございます。

既に米沢市新水道事業ビジョンの中でアセットマネジメントに取り組んでおり、それに基づく更新計画の策定、早期実施が待たれるところであり、また、更新投資には多額の資金を要し、今後とも根幹収入安定確保による経営基盤の維持、強化が必要となるが、その前提となる水道料金体系が、当市の場合、消費抑制、小口使用への配慮を目的とした逡増型料金体系、これは高度成長期を前提とした料金体系でございます。現在は低成長期、安定成長期に移ってきておりますので、これでいいのかと。悪いという意味ではございませんが、この見直しをビジョンの中でも、その検証が必要と上下水道部みずから計画の中でおっしゃ

っております。大量更新の到来時期まで検証を行ってほしいと思います。その上で、水の安定供給を続け、質の高い市民サービスを安定的に提供していくことが求められます。

病院事業について、前述のとおり、若干の経常赤字計上まで業績を大幅に改善させました。入院・外来患者の増加、患者1人当たりの診療収益の増加によるものであるが、地域内人口が減少している中でなぜ増加に転じるのか、その理由を問いましたところ、「落ち穂拾い」施策の実施という話でございました。平成29年度に業績改善の好事例となる県外病院の視察を行い、参考となる事項を実践したものとのことであります。その主とするものは、質の高い医療を提供し診療単価を上げ、漏れなく算定することの必要性ということで、救急医療管理加算や薬剤管理指導料など17項目で、算定漏れがないよう条件の確認、診療計画表への記載漏れの点検、実施入力の徹底を行い、それだけで昨年度比4,427万6,000円の利益効果があったということでした。本年度はまずはやってみようという行動しただけのことであったが、平成30年度はそれを計画立てて実施してみるとのこと、さらなる収益改善が期待されます。

今後予定されている三友堂病院との地域医療連携推進法人の設立、そして地方独立行政法人への移行を控え、早期の単年度収支の黒字化及び定着化が喫緊の課題となっております。収益確保等の取り組みを着実に進め、経営改善課題に努めていきたいと思っております。

9ページまでお進みいただきたいと思っております。

9ページのところで表を出しておりますが、これは水道事業の分ではありますが、本市が水道事業の財務面で素晴らしいというのは、ここのほかの類似団体と比較したときに、適切なさやが保たれているということでもあります。本市の場合、29年度、給水原価と供給単価の差が35円ございます。類似団体においては8.8円、28年度でございますが、しかございません。これが当市の財務がすばらし

いポイント、これだけではございませんけれども、いろいろな努力の結果ではありますが、これがポイントとなるということです。

20ページまで、またお進みください。

20ページについて、水道事業について若干劣るところがあるということで、先ほど大変失礼なコメントを申し上げさせていただきましたが、ここの表の経営指標分析の下のところで老朽化の状況、有形固定資産原価償却率が類似団体比でちょっと悪いと。管路経年化率というのは、これは大変すばらしい。つまりまだ老朽化しているものはないと言うことができます。これは設置した事業年度が昭和56年から60年度に集中していると、当市の場合。これが影響しておりますが、計数面ではこういうことが言えます。ただ、10年以内にそれが法定耐用年数が到来するというような状況にあるということでもあります。管路更新率については、その結果として類似団体比がちょっと悪いという形になります。耐震適合率についてはちょっとおけているというところが散見されます。

あと、25ページ、27ページまでお進みいただきたいと思っております。

これは病院事業の分のところでございますが、25ページのところで傾向が反転しております。入院収益、外来収益の推移が上昇しております。

26ページ、延べ患者数の推移も反転しております。ただ、残念ながら27年度までには至っておりません。ただ、29年度については、新入院患者数については若干ふえましたが、初診外来患者数は減少傾向が継続していると。こら辺のところの問題も解決があらうかと思っております。

あと27ページについては、患者1人当たりの診療収益ということで、先ほど申し上げたいろいろな努力の結果、診療収益を単価を上げて全体の数字、利益の改善につなげたという形になっているというふうに判断いたしております。

私からの説明は以上でございます。

○島軒純一議長 以上で決算審査意見書の説明を終

了し、これより総括質疑に入ります。

ただいま議題となっております議案に対し、御質疑ありませんか。相田克平議員。

**○22番（相田克平議員）** 私からは、議第66号についてお伺いしたいと思います。

これまでも私たちは、新庁舎建設に当たっての基本理念として、安全・安心で誰もが利用しやすい経済的な庁舎ということで説明を受けてきました。実は私はプロポーザルは見に行けなかったんですけれども、行ってきた方のお話等々もお聞きして、今回資料としてもいただいた講評なども読む限り、経済的という点でいえば、価格面でいえば1番目ではないところがございますし、あと、耐震といいますか、そういう強度でいうと、この講評を読む限り、鉄骨造の提案が選ばれているということである、この基本理念の部分と若干違和感といいますかギャップを感じるんですよ。1次審査の技術審査の点数の内容については説明はいただいているわけなんですけれども、ここの部分ですよね、やはり評価が分かれているところだと思います。

まず、本当に地震に対して大丈夫なのかどうか、そここのところの認識と、こういう結果になっている点について市長は理解されているのかということをお聞きしたいと思います。

**○島軒純一議長** 杉浦建設部長。

**○杉浦隆治建設部長** ただいまお話があったとおり、優先権者の骨格構造は鉄骨構造というようなところが出てきたところがございます。

まず、応募に当たっては、求める性能は要求水準書で示しながら応募を図ったところでありまして。そして、ただいまお話があったとおり、審査に当たっては、講評のほうはお示ししておりますけれども、技術提案の講評の中身、それから全体を見ていただければ御理解いただけるかと思っておりますけれども、設計施工者選定審査会の中で慎重かつしっかりと審査していただいた結果でありますと認識しております。

いろいろ主たる構造体は特色があるかと思えますけれども、鉄骨構造であってもその特徴を生かして、しっかり基本理念に沿った庁舎をつくっていくつもりでおります。そして、つくっていかねなければならないと思っております。

**○島軒純一議長** 中川市長。

**○中川 勝市長** 今建設部長が申し上げたとおりであります。最終的にはこういった審査の上で業者が選定された。そのやっぱり一番重要な課題であったのは、議員お述べのとおりであって、安全・安心、そして市民の皆様に使いやすい市役所にしなきゃならないというようなことでありますので、最終的にそういった報告をいただきまして、それは確保できるものと、このように理解しておるところであります。

**○島軒純一議長** 相田克平議員。

**○22番（相田克平議員）** 講評では、今回市庁舎を建てる上では、やはり工期は絶対的に守らなければいけないので、冬期間の工事のことに対する配慮だとか工期を短縮する効果だとかということは評価されているということが載っているわけです。でも、一方で、やはり壁がふえたり、中身の配置というものの自由度というのは当然下がっていくわけで、しかも、現在の新庁舎の計画でいくと、機械室は4階に、最上階にということで計画されていて、そこはそこで重さの負荷、荷重といいますかね、そこに対する強度も求められているという、その中で、私が聞いた限りでは唯一鉄骨造の提案だったところが選ばれているというところに違和感を感じるわけです。

今後、実施設計等々については、当然CM事業者、あと本市建設部等々と詰めていくと思うんですけれども、ここでお約束いただきたいといえますか、要は建てて完成してから数十年たったときに、あのときやはり鉄筋コンクリート造のほうがよかったなんていうことにならないように、やはり実施設計のところと建設工程をきちんと見定めていく必要があると思えます。

我々も、今般上程されている案件ですので、委員会の中できちんと審議させていただきますが、その不安を払拭するような材料といますか、そういうものをきちんと示していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○島軒純一議長 杉浦建設部長。

○杉浦隆治建設部長 これから基本設計、実施設計と進めてまいりますけれども、それぞれの、今回は鉄骨構造に即した構造計算によって、しっかり外力そして荷重に対して強い、求められる建物をつくってまいります。必要とあらば、その都度資料をお示ししながら御説明させていただきたいと思えます。

○島軒純一議長 ほかに質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○島軒純一議長 総括質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案26件は、会議規則第37条第1項の規定により、配付しております議案付託表のとおりそれぞれ所管の委員会に付託いたします。

各委員会は、会議日程により慎重審査の上、来る9月28日の本会議にその結果を報告願います。

.....

### 日程第33 請願・陳情の付託

○島軒純一議長 次に、日程第33、請願・陳情の付託であります。

今定例会における請願提出期限の8月27日までに受理し、付託いたします請願・陳情は2件であります。

会議規則第141条第1項の規定により、配付しております請願（陳情）文書表のとおり所管の委員会に付託いたします。

所管の委員会は、会議日程により慎重審査の上、来る9月28日の本会議にその結果を報告願います。

.....

散 会

○島軒純一議長 以上で本日の日程は終了いたしました。

これにて散会いたします。

御苦労さまでした。

午前11時10分 散 会

